

オリジナル園芸化成がさらに内容充実!!

総合微量元素入り

あいち中央化成



保証成分 (%)

チツソ	リンサン	カリ	苦土	マンガン	ホウ素
14	7	10	3	0.1	0.2

楽しい 園芸作物の施肥量目安

スイカ

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
播種			定植			収穫					
土改材			元肥			追肥			追肥		

スイカは初期に肥料が効きすぎると茎葉生育が旺盛になりすぎて、雌花がきちんと着かないなどの弊害が出てきますので、元肥は控えめにして初期生育が暴れないように心掛けましょう。追肥は果実の肥大や樹勢維持のため大切な役割を持っています。交配時期及び摘果を行う時期につる先に追肥を施しましょう。

施肥量の目安(10a当り)

土壌改良材	苦土石灰	100kg	pH6.0~6.5を目安に施用
	BMようりん	40kg	
元肥	あいち中央化成	60kg	
追肥	あいち中央化成 or NK肥料	20kg × 2回	



スイートコーン

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
播種			収穫								
土改材			元肥			追肥			追肥		

スイートコーンは大きい穂を作るために追肥がポイントになります。生育ステージに合わせた元肥・追肥を効かせるようにしましょう。追肥は収穫期まで肥切れしないように雄穂が出る前と雌穂の綿糸が出る前の2回施すようにしましょう。

施肥量の目安(10a当り)

土壌改良材	苦土石灰	100kg	pH6.0~6.5を目安に施用
	BMようりん	40kg	
元肥	あいち中央化成	100kg	
追肥	あいち中央化成 or NK肥料	30kg × 2回	

あいち中央化成は環境にやさしく、作物にもやさしい肥料です

①ジシアンジアミドの硝酸化抑制効果

ジシアンジアミドの硝酸化抑制効果によって窒素成分を土に吸着しやすい状態で残します。これによって肥料成分の流亡を抑え(環境にやさしい)肥料の利用効率を上げます。(無駄のない肥料)

土が窒素成分をつかんでいるから水に流れにくい



②バランスの良い肥料成分

微量ながら作物が健全に生育するのに欠かせないのが微量元素。でも少量を散布するのは難しい。根酸等によって少しずつ溶けて吸収される総合微量元素“アグリエース”をあいち中央化成に配合、微量元素も元肥・追肥施用と同時に施せる手軽で安心設計の肥料へと内容充実。(作物にやさしい)

エダマメ

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
播種			定植			収穫					
土改材			元肥			追肥					

エダマメはコンスタント型の吸肥パターンを示します。根粒菌の着生がよく、空気中の窒素を固定して肥料分に補うので元肥の量は控えめに、過繁茂になるのを防ぎましょう。子実の肥大充実を促すために、開花期頃に追肥を行い、同時に土寄せも行います。(遅くとも開花後15日までは追肥を済ませましょう。)

施肥量の目安(10a当り)

土壌改良材	苦土石灰	100kg	pH6.0~6.5を目安に施用
	BMようりん	40kg	
元肥	あいち中央化成	60kg	
追肥	あいち中央化成 or NK肥料	20kg	



ナス

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
播種・鉢上げ・定植			収穫								
土改材			元肥			追肥					

ナスは生育期間を通じて安定した肥効を必要とします。肥料を多く必要とする作物ですが初期に肥料が効きすぎると樹ぼけしてしまいますので、元肥は適正に施して初期生育が暴れないよう心がけましょう。追肥開始のタイミングは一番果の肥大期~収穫開始頃です。この後は20~30日間隔で行っていきます。

施肥量の目安(10a当り)

土壌改良材	苦土石灰	100kg	pH6.0~6.5を目安に施用
	BMようりん	40kg	
元肥	あいち中央化成	120kg	
追肥	あいち中央化成 or NK肥料	30kg × 5回	

トマト

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
播種・鉢上げ・定植				→							
土改材				元肥				追肥			

トマトは生育期間を通じて安定した肥効を必要とします。ただ、初期に肥料が効きすぎると樹ぼけしてしまいますので、元肥は控えめに追肥で生育を調整するよう心がけましょう。追肥開始のタイミングは三番花房が開花した頃を目安にします。この後は奇数段花房が開花する毎に追肥を行います。(樹勢が強い場合は行わない)

施肥量の目安(10a当り)

土壌改良材	苦土石灰	100kg	pH6.0~6.5を目安に施用
	BMようりん	40kg	
元肥	あいち中央化成		70kg
追肥	あいち中央化成 or NK肥料		20kg×3回



オクラ

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
土改材				元肥				追肥			

オクラは吸肥力が強く、元肥が効きすぎると初期に樹勢が強くなり奇形果の発生が多くなるので、安定的に肥料を効かせるように心掛けましょう。オクラは開花・着莢の頃から生育が早まりますので、肥切れさせないように追肥は収穫開始前後から15~20日間隔で行いましょう。

施肥量の目安(10a当り)

土壌改良材	苦土石灰	100kg	pH6.0を目安に施用
	BMようりん	40kg	
元肥	あいち中央化成		60kg
追肥	あいち中央化成 or NK肥料		20kg×4回



サトイモ(早掘り)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
土改材				元肥				追肥			

サトイモは乾燥に弱い作物なので、特に初期の乾燥には注意しましょう。追肥は6月上旬と7月中旬の2回土寄せ時に施すようにします。

施肥量の目安(10a当り)

土壌改良材	苦土石灰	100kg	pH6.0~6.5を目安に施用
	BMようりん	40kg	
元肥	あいち中央化成		120kg
追肥	あいち中央化成 or NK肥料		30kg×2回

ダイコン(秋まき)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月				
土改材								元肥				追肥			

ダイコンは初期の肥効が強すぎると過繁茂になり、根の生長に悪影響を与えますので、元肥は控えめに追肥で生育を調整するようにしましょう。(追肥は本葉1~2枚の頃と6~7枚の頃を目安に2回行います。)

施肥量の目安(10a当り)

土壌改良材	苦土石灰	100kg	pH6.0~6.5を目安に施用
	BMようりん	40kg	
元肥	あいち中央化成		60kg
追肥	あいち中央化成 or NK肥料		20kg×2回



馬鈴薯(春植え)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
土改材				元肥				追肥			

ジャガイモは元肥窒素が多すぎると茎葉が繁茂して、いもの出来に悪影響を及ぼすので施肥量には注意しましょう。追肥は開花期頃を目安に行うようにします。(マルチ栽培の場合は追肥は行いません)

施肥量の目安(10a当り)

土壌改良材	BMようりん	60kg	pH5.0~5.5を目安	
元肥	あいち中央化成			80kg
追肥	あいち中央化成 or NK肥料			40kg

ニンジン(秋まき)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
土改材				元肥				追肥			

窒素過多になると茎葉が繁茂して根の肥大と着色が悪くなるので、初期からコンスタントに肥料を効かせて充実した地下部の生育を促しましょう。また、使用する肥料は肥効が安定したものが適しています。なお、追肥は間引き及び土寄せ時に3回に分けて施します。

施肥量の目安(10a当り)

土壌改良材	苦土石灰	100kg	pH6.0~6.5を目安に施用
	BMようりん	60kg	
元肥	あいち中央化成		40kg
	ケイ酸カリ		40kg
追肥	あいち中央化成		40kg×3回



キャベツ(夏まき)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
							播種	→	定植	→	収穫
							土改材	元肥	追肥	追肥	

充実した球を作るには充実した外葉形成を促す事が必要です。初期から結球期まで肥料が切れないように管理を行いましょう。追肥は定植20日後と結球始期の2回施します。



施肥量の目安(10a当り)

土壤改良材	苦土石灰	120kg	pH6.0~6.5を目安に施用
	BMようりん	40kg	
元肥	あいち中央化成		140kg
追肥	あいち中央化成 or NK肥料		30kg×2回

ハクサイ(夏まき)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
							播種	定植		収穫	
							土改材	元肥	追肥	追肥	

球の形成には初期から外葉の充実を促す事が大切なので、早めに追肥を施して外葉数確保に努めましょう。ただ、窒素過多になると芯腐れやゴマ症の発生を引き起こすので、堆肥や残存窒素を考慮して元肥施肥量を調整します。

追肥は定植15~20日後から開始し、20日間隔で施します。

また、ホウ素欠乏が発生しやすいので、元肥にはホウ素入りの園芸化成を使用しましょう。

施肥量の目安(10a当り)

土壤改良材	苦土石灰	120kg	pH6.0~6.5を目安に施用
	BMようりん	40kg	
元肥	あいち中央化成		120kg
追肥	あいち中央化成 or NK肥料		30kg×2回



ブロッコリー(夏まき 頂花蕾・側枝花蕾どり)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
							播種	定植		収穫	
							土改材	元肥	追肥	追肥	

花蕾肥大期に最も肥料を吸収しますので、外葉の充実とともに花蕾形成期にかけてコンスタントに肥料を効かせるようにしましょう。

追肥は定植20~30日後と花蕾が出来始めた頃に施すようにします。

なお、ホウ素欠乏が発生しやすいので、元肥にはホウ素入りの園芸化成を使用しましょう。

施肥量の目安(10a当り)

土壤改良材	苦土石灰	100kg	pH6.0~6.5を目安に施用
	BMようりん	40kg	
元肥	あいち中央化成		100kg
追肥	あいち中央化成 or NK肥料		30kg×2回

レタス(夏まき マルチ)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
								播種	定植	収穫	
								土改材	元肥		

窒素の効きすぎは玉のしまりを悪くしたり、カルシウム欠乏を誘発するので、元肥は堆肥や残存肥料を考慮して施肥量を決めましょう。

施肥量の目安(10a当り)

土壤改良材	苦土石灰	120kg	pH6.0~6.5を目安に施用
	BMようりん	40kg	
元肥	あいち中央化成		140kg

ホウレンソウ(秋まき)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
								播種	収穫		
								土改材	元肥	追肥	

ホウレンソウは酸性に弱いので、播種前に土壤矯正を確実に行きましょう。栽培が厳寒期に入るので追肥は化成肥料を使用し、株の充実を促しましょう。(追肥は播種後20~30日を目安に施します。)



施肥量の目安(10a当り)

土壤改良材	苦土石灰	200kg	pH6.5~6.8を目安に施用
	BMようりん	60kg	
元肥	あいち中央化成		100kg
追肥	あいち中央化成 or NK肥料		20kg

タマネギ(中晩生)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
							収穫		定植		
							追肥	追肥		土改材	元肥

タマネギの根は肥料に弱いので、安定した肥効を示す肥料を使用して初中期生育を促しましょう。また、追肥は鱗茎肥大が始まる2月中旬頃に一回目を施し、その一ヶ月後に2回を施します。なお、2回目の追肥が遅くなると貯蔵性が悪くなるので注意しましょう。



施肥量の目安(10a当り)

土壤改良材	苦土石灰	120kg	pH6.0~6.5を目安に施用
	BMようりん	50kg	
元肥	あいち中央化成		120kg
追肥	あいち中央化成 or NK肥料		20kg×2回